

## 「八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業進捗状況

※各プロジェクト・施策の基本目標・KPI及び事業パッケージ(どのような事業展開となっているか)を経年で示しています。

※基本目標・KPIの「達成状況」については下表を参照してください。

「達成状況」(目標値の達成状況)	達 成	◎	
	未達成	前年度(現状値(H30))より前進もしくは同値の場合	○
		前年度(現状値(H30))から後退している場合	△
	その他(数値なし)	—	

### 1 子どもが輝く未来の創生 「やわた子ども未来プロジェクト」

#### <総括>

#### (1) 次代を生きる力の育成

##### ①就学前教育・保育の充実

子どもの体力低下が危惧されているところ、子どもの体力向上や遊びの多様化を図るため、みどりの園庭づくり事業として、就学前施設(わかたけ保育園)の園庭を芝生化し、自然と外で体を動かしたくなるような環境を整備した。幼小連携については、小学校への円滑な接続のため、引き続きアプローチカリキュラム(5歳児用)の実践に努めた。

##### ②学校教育の充実

学びの環境の充実に向け、公立小中学校の屋内運動場空調設備整備等を行うとともに、GIGAスクール構想では、授業改善を図りながら積極的な端末の利活用を進め、子どもの学力向上に取り組んだ。

各中学校区ごとに設置している学校支援地域本部にて、各々の地域の特色を活かした学校支援を実施。令和2年度に引き続き、対面や大人数で行う活動については新型コロナウイルスの影響により制限せざるを得なかったが、安全指導などの活動については従来どおりの支援を行うことができた。

##### ③配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練や生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進などの療育を行った。また、スタディサポート事業(鳩嶺教室)の対象者を従来の中学生に加え、小学校4年生以上に拡充するなど、学習意欲は高いが経済的理由により塾等に行けない児童生徒に対して、より学習に集中できる場と教育内容を提供することができた。不登校児童生徒出現率は全国的に増加傾向が見られるため、本市における動向を注視しながら、個別のケースを適切に見立て、早期発見、教育・福祉・医療の連携等を大切にして、将来の社会的自立を目指す個に応じた支援を今後も継続する。

##### ④地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

日本語支援員を市内小中学校へ派遣することにより、日本語の指導を必要とする児童生徒に対して、指導の充実や支援体制の強化を図った。

また、国の指定を受け、多様性を認め合い、共に高め合う子どもを育てる学校・家庭・地域づくりを目指して、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対してできる支援を考え、外国人の人権について調査研究を行った。

文化財講座や小学生の社会科見学を通じ、次代を担う子どもたちが地域の歴史や文化を愛し、誇りに感じられるよう、地域の文化財の情報発信に努めた。子どもの多文化交流や国際交流を目的とした、八幡浜市やマイラン村との訪問交流は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、中学生の英語検定受験料負担や小中学校への外国人指導助手の派遣等については従前どおり実施し、子どもの国際交流の足掛かりとなる英語能力の向上を図った。

## (2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

### ① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

やわた放課後学習クラブによる放課後の居場所の提供は、市内全小学校5・6年生を基本に、夏休み期間に特別講座を実施することで小学4年生への放課後の居場所及び学習の場も提供するようになった。その一方で、児童を受け入れるための教室や指導者確保の課題があり、放課後子ども総合プランで示されている「全ての児童」が放課後を安全・安心に過ごせる場の提供には至っておらず、引き続き検討を進めていく。

放課後児童健全育成事業については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機、加湿器、掃除機等を追加購入したほか、熱中症対策として、屋内用遊具の充実を行った。

子どもわくわく教室については、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を引き続き講じたうえで、屋外競技に加え令和2年度は控えていた屋内競技及び文化教室を再開し、計7教室を実施した。八幡市スポーツ協会及び八幡市文化協会への委託により、基礎から応用までの指導を行い、スポーツや文化に触れるきっかけづくりの場の提供を、拡大することができた。

小学校児童を対象とした農業体験では、八幡農業ボランティアの会の協力のもと収穫体験を行い、児童の好奇心や探求心の育成に貢献できた。

### ② 夢にふれる機会の創出

児童生徒が「夢」に触れる機会の創出に向け、日本サッカー協会への委託による「夢の教室」オンラインやキャリア体験等の活動を学校の授業において実施し、豊かな「こころ」と「からだ」、将来への夢と希望を持って力強く生きようとする意欲や態度を育んだ。

## (3) 結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

### ① 結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

産後ケア事業においては従来の居宅訪問型事業に加え、新たに短期入所型事業を開始した。また、子どもとの関わり方をより実践的に学ぶ機会として、「子はたからプロジェクト」において、絵本を配布するとともに、市民を対象としたワークショップを開催した。

市民の約3割が居住する男山地域においては、地域子育て支援施設「おひさまテラス」への助成を引き続き実施するとともに、京都府が目指す「子育て環境日本一」の実現に向け、スケートボードパークを整備した。

ファミリーサポートセンター事業の利用状況としては、令和2年度のような新型コロナウイルス感染症による小学校の一斉休校等は行われなかったことから、援助活動の利用件数は、令和2年度を上回る結果となった。今後の取り組みについては、援助を行うサポート会員の高齢化や活動自粛等により、会員の確保が課題となっていることから、子育てが落ち着いた利用会員の中からサポート会員としても活動してもらえるようアプローチするなど、相互援助活動の継続に向けた取り組みを行っていく。

子育て支援センターの利用実績は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う施設の利用制限を継続的に実施したため、令和2年度と同程度に留まったが、同年度にリニューアルしたさくら近隣公園で子育てイベントを開催し、親子で参加できる交流の機会を新たに設けた。また、経済的な支援策として、新生児のいる世帯に臨時給付金を支給するなど、コロナ渦における子育て環境の充実を図った。

公立就学前施設については、「八幡市立就学前施設再編の基本方針」を策定し、統廃合を含めた今後の施設のあり方についての考え方をまとめた。今後、基本方針に基づき公立就学前施設の統廃合や認定こども園化を進め、1施設当たりの園児数を確保しながら民間との協働による教育・保育内容の一層の充実を図っていく。

### ② 子ども・妊産婦の保健体制の充実

こんにちは赤ちゃん訪問事業や各種健康診査を例年通り実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問率、受診率は令和2年度同様に低い結果であった。

きこえの障がいを早期に発見し支援することで、子どもの言語の発達や母子関係の構築等を促すことを目的とした新生児等聴覚検査費用の一部助成を新たに開始した。また、妊娠中の口腔内トラブルを改善、予防することで、歯周病が原因で起こると言われる低体重児出産、早産を予防し、母子ともに健康に出産が迎えられるよう、妊婦歯科検診も新たに開始した。

### ③ 安心して子育てできる相談・医療体制の充実

様々な事情を抱える家庭が安心して子育てできるよう、児童発達支援センターを中心に、発達の悩み等、子どもの悩みを気軽に相談ができる場を設けたほか、児童・保護者の健康保持及び子育て家庭の経済的な負担軽減を図るべく、医療給付を実施した。また、ヤングケアラーに関する支援策として、支援が必要な子どもを早期発見できるよう、社会的認知度の向上に向けた研修等に取り組んでいく。加えて、スタディサポート事業(鳩嶺教室)の対象者を従来の中学生に加え、小学校4年生以上に拡充するとともに、日本語指導を必要とする外国人の児童生徒に対し支援員等の派遣によるサポートを行うなど、体制の充実を図った。

### ④ 働く大人の子育てサポート

令和2年度に引き続き、コロナ禍においても、病児保育事業や延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業の継続に努めることで、働く保護者等の子育てサポートを図ったほか、令和3年3月に策定した「男女共同参画プランの一歩計画Ⅲ」に基づき、男女がともに仕事と家事・育児等家庭生活のバランスを図れるよう、今後周知、啓発に努めていく。

<基本目標の達成状況>

基本目標		現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
将来への夢や目標を持つ子どもの割合	小学生(6年生)	79.9%(R1)	76.5%	90%	△
	中学生(3年生)	66.2%(R1)	62.3%	80%	△
子育てが楽しいと思う保護者の割合		53.8%	R5取得予定	70%(R5)	—
子育て世代の転出入者		▲146人	▲7人	0人以上	○

<各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業  
 □ : 上記以外の事業

(1)次代を生きる力の育成

(KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生)	国語	94.0(R1)	97.4	100	○
	算数	96.1(R1)	94.0	100	△
全国学力・学習状況調査結果(中学校3年生)	国語	89.3(R1)	94.4	100	○
	数学	85.3(R1)	90.9	100	○
市内不登校児童生徒出現率	小学生	1.0%	1.12%	0.7%	△
	中学生	5.8%	6.54%	3.7%	△

(事業進捗状況)

①就学前教育・保育の充実

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		37～38 ページ
第1節 子育て支援		
施策②就学前教育・保育の充実 プロジェクト1.就学前教育・保育の充実		

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○みどりの園庭づくり事業 子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を実施 わかたけ保育園園庭の芝生化等 4,085千円(2,042千円)	⇒ 継続実施(拡大) 橋本幼稚園園庭の芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 1,120千円

【再掲】

## ②学校教育の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進		
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり		23 ページ
子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト1.学校教育の充実		40～42 ページ
プロジェクト2.学校教育環境の整備		43～44 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ③配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備		45～46 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○スタディサポート事業(鳩嶺教室)	⇒ 継続実施(拡大)
経済的に困難な家庭の小学4年生以上及び中学生を対象に実施 受講 小学生74人 中学生156人 50,482千円(6,532千円)	小学生の対象事業に英語を追加 60,080千円(11,425千円)

## ④地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		82 ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進		83 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		84～86 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## (2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

(KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
放課後子ども総合プラン実施箇所数	一体型	—	0か所	4か所	○
	連携型	—	0か所	4か所	○
子どもわくわく教室開催数		7教室	7教室	9教室	○

(事業進捗状況)

### ① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

#### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策② 児童・青少年の健全育成		
プロジェクト1. 放課後における児童の健全育成		47 ページ
プロジェクト2. 青少年の健全育成		48～49 ページ
自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策② お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト1. お茶に親しむ機会の創出		87 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→ なし

### ② 夢にふれる機会の創出

#### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策① 学校教育		
プロジェクト1. 学校教育の充実		40～42 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→ なし



### (3)結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
保育園待機児童者数	0人	0人	0人	◎
認定こども園の数	5か所	5か所	7か所	○
3歳児健康診査受診率	94.2%	79.7%	95.0%	○
こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率	92.6%	78.1%	95.0%	○
ファミリーサポートセンター登録会員数	411人	417人	435人	△

#### (事業進捗状況)

##### ①結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト1.妊娠・出産・子育て環境の整備と充実		30～31 ページ
施策②就学前教育・保育の充実		
プロジェクト1.就学前教育・保育の充実		37～38 ページ
プロジェクト2.公立就学前施設の再編		39 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p><b>○ 子育て支援事業助成</b></p> <p>男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成 「おひさまテラス」利用児童 519人 1,524千円(750千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>1,546千円</p>
<p><b>○ 子はたからプロジェクト</b></p> <p>子どもとの関わり方を学び、子育てに楽しさを感じる機会を提供するため、絵本を配布、絵本を媒体にしたワークショップを開催 WS開催 1回、参加者 7組 685千円(335千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>670千円(300千円)</p>
<p><b>○ さくら近隣公園リニューアルオープニングイベント</b></p> <p>リニューアルした公園のオープニングイベント開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 203千円(102千円)</p>	
<p><b>○ こども動物園充実</b></p> <p>ふれあい体験の実施に係る小動物の購入 入荷がなかったため購入できず(九官鳥1羽) 0千円(0千円)</p>	
<p><b>○ さくら近隣公園子育てイベント実施</b></p> <p>R2にリニューアルした公園を活用した子育てイベントの開催 参加者133人 277千円(103千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>親子や子ども同士で身体を動かして遊ぶ子育てイベントと、楽しんで健幸になれる多世代交流イベントを「さくら公園よりみちマルシェ」として開催 500千円</p>
<p><b>○ スケートボードパーク整備</b></p> <p>男山レクセン内に新設し、子どもたちが安心して楽しめる空間を創出 実施設計、整備工事、オープニングイベント開催 32,327千円(6,597千円)</p>	

【再掲】

## ②子ども・妊産婦の保健体制の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト2.子ども・妊産婦の保健体制の充実		32～33 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ③安心して子育てできる相談・医療体制の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進		
プロジェクト1.相談・保健・医療体制の充実		12～13 ページ
プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実		14～15 ページ
子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト3.相談・支援体制の充実		34～35 ページ
プロジェクト4.ひとり親家庭支援の充実		36 ページ
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備		45～46 ページ
誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第2節 医療・介護の連携		
施策①医療基盤の充実		
プロジェクト1.地域医療・救急医療体制の確保		67 ページ
プロジェクト3.医療費助成制度の適正運用		70 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ④働く大人の子育てサポート

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策②男女共同参画の推進		
プロジェクト3.ワーク・ライフ・バランスの確保		11 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし



## 2 健幸都市の創生 「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

### <総括>

#### (1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

##### ①「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

国民健康保険等のデータを一元化した健幸クラウドシステムによる分析の結果、各疾病の状況や医療費において小学校区ごとに違いが見られたことを受けて、分析結果を参考に小学校区ごとの健康教室や健幸マルシェを実施した。どの事業においても一定の参加があったが、健康無関心層へのアプローチを強化していくことが必要となる。

##### ②健幸プロモーションの推進

新規健幸アンバサダーの養成と、アンバサダーを通じた情報発信については、概ね予定通り実施することができたが、年々新規アンバサダーの確保が難しくなっている現状がある。また、市からアンバサダーへは、郵送による情報伝達を行っているが、郵送料や作業負担の観点から、今後郵送以外の手法について検討が必要である。

#### (2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

##### ①地域で行う健康づくり体制の充実

地域での支え合い活動の仕組み構築に向けた絆ネットワーク構築支援事業や『わたしたちの談話』プロジェクトの実施により、地域でのやりがいを感じられる高齢者の増加に繋がったことや介護予防の教室を行う人材を新たに養成することができ、少しずつではあるが地域における介護予防教室の拡大につながっている。引き続き、適切な情報発信とともに、地域における通える場所づくりを展開していくことが必要である。

##### ②健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

生活総合機能改善機器を活用し、歌、音楽、映像による運動、口腔、認知機能の維持向上を図る体操教室を実施した。また、コミュニティによる健康づくりについては、コロナを正しく恐れつつ必要な対策を行うなど、安全な実施に向けたサポートを行うことにより活動を促進し、引き続き平均寿命と健康寿命の延伸に努めていく。

##### ③生涯活躍のまちの推進

高齢者の就労機会提供等による生きがいづくりを目的としたシルバー人材センターへの運営費助成を引き続き行うとともに、高齢者の憩いと交流を目的とした八寿園及び老人の家運営を行い、高齢者の生きがいづくりに努めた。

##### ④地域包括ケアシステムの推進

地域包括支援センターにおいて、高齢者の総合相談窓口の運営や地域ケア会議の開催等の取組を引き続き実施した。

#### (3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

##### ①健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

ウォーキングを中心とした運動習慣定着のために実施している「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」においては、ほぼ予定どおり事業を推進することができ、新たな参加者も概ね予定通り確保できている状況。また、医療費・介護給付費の抑制効果を検証したところ、参加群と不参加群を比較すると1人あたり年間21.9万円の抑制効果が確認できた。

また、市民がスポーツに親しむ機会の提供及び市民相互の交流を促進するイベントとして、「やわたスポーツカーニバル」を開催するとともに、男山レクリエーションセンターにスケートボードパークを整備した。

##### ②歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ふれあいウォーキング教室、ノルディックウォーキング教室を各1回開催したが、令和4年度は、各教室ともに2回開催する予定としている。市民ふれあいウォーキングについては、行先等のニーズを汲み取り、参加者の増加を図る。

道路舗装の維持補修や歩道の段差緩和など市内道路のバリアフリー化や放置自転車等対策を進め、誰もが安心して利用できる道路環境整備に努めた。

また、ウォーカブルシティの先駆けとして、公立就学前施設の芝生化に取り組んだ。

<基本目標の達成状況>

基本目標		現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
健幸クラウドシステム	からだの状況とライフスタイル(※1)	1.5/5.0	1.0/5.0	3.5/5.0	○
	ソーシャルアクティビティ(※2)	1.5/5.0	1.5/5.0	3.5/5.0	○
	スマートウェルネスシティインフラ(※3)	2.0/5.0	3.5/5.0	4.0/5.0	○
※1:「寝たきりリスク」、「心身の状況」及び「ライフスタイル」を総合的に評価し点数化する指標。 ※2:「健康に対するリテラシー(*)と社会意識」、「ソーシャルキャピタル」、「まちのにぎわい」及び「ポピュレーション戦略(*)とコミュニティ推進」を総合的に評価し点数化する指標。 (*):健康に対するリテラシー:個人が、自らの健康の課題に対し、適切な判断をするために必要となる情報やサービスを自ら取得し、理解し、処理する能力。 (*):ポピュレーション戦略:健康無関心層を含めた住民全体へ働きかけることにより、地域全体の健康リスクを軽減する取組。 ※3:「健康に影響する都市環境」、「公共交通」及び「スマートウェルネスシティ推進体制と無関心層への対策」を総合的に評価し点数化する指標。					

<各施策の具体的事業の進捗状況>

: 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業  
 : その他、市で取り組んだ主な事業

(1)スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
定期的に運動をしている市民の割合	58.9%(H28)	58.7%	67.5%	△
健康づくりイベント参加者数	2,500人	400人	4,000人	△

(事業進捗状況)

①「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	
第1節 健康で幸せのまちづくり	/
施策①健康づくり習慣の定着促進 プロジェクト1.健康意識の向上促進	54～56 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり	62 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 健幸クラウドシステム運用	⇒ 継続運用
国民健康保険等のデータを一元化し健康課題を分析、施策立案を実施 R2データ分析 6,380千円(3,190千円)	R3データ分析 6,380千円(3,190千円)

## ②健幸プロモーションの推進

### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		54～56 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		57～58 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		62 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<b>○ 健幸マルシェ開催</b> 健幸クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントの開催 健幸マルシェ2回開催 135千円(32千円)	⇒ 継続開催 169千円
<b>○ やわたヘルスプロモーション推進</b> 情報を伝える人(健幸アンバサダー)を養成し、健康情報の提供を実施 健幸アンバサダー養成64名 累計513名 520千円(200千円)	⇒ 継続実施 800千円(263千円)

## (2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

(KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室	実施箇所数	5か所	7か所	20か所	○
	参加者数	106人	118人	500人	○
平均寿命と健康寿命の差	男性	1.80歳	2.22歳	現状値より縮小	△
	女性	4.09歳	3.79歳	現状値より縮小	◎

(事業進捗状況)

### ①地域で行う健康づくり体制の充実

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実		18 ページ
誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト1.地域で支える介護予防の推進		60～61 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### ②健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		54～56 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		57～58 ページ
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進		59 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### ③生涯活躍のまちの推進

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト3.社会的活動への参加促進		63 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ④地域包括ケアシステムの推進

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		/
第2節 医療・介護の連携		
施策②地域包括ケアシステムの推進		
プロジェクト1.地域包括ケアシステムの構築		
		73～74 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### (3)誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
ウォーキングマップの認知率	25.7% (H28)	27.0%	40.0%	○
市民スポーツ公園利用者数	157,561人	96,707人	163,200人	△
運動公園利用者数	17,560人	15,434人	19,160人	○

(事業進捗状況)

#### ①健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		/
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進		59 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		/
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		
		62 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p><b>○ やわた未来いきいき健幸プロジェクト</b> ⇒ 継続実施(拡大)</p> <p>健康意識向上に向け、歩数や検診受診等に応じ景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業等を実施 参加者 3,087人 36,361千円(13,705千円)</p>	<p>やわたミドルクラブ事業実施 49,500千円(19,003千円)</p>
<p><b>○ やわたスポーツカーニバル開催</b> ⇒ 継続実施</p> <p>スポーツの普及・振興に向け、市民にスポーツに親しむ機会を提供し、市民相互の交流を促進するイベントを開催 参加者 1,069人 1,232千円(616千円)</p>	<p>2,000千円</p>
<p><b>○ スケートボードパーク整備</b></p> <p>男山レクセン内に新設し、子どもたちが安心して楽しめる空間を創出 実施設計、整備工事、オープニングイベント開催 32,327千円(6,597千円)</p>	

②歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策③ 健幸につながるまちの基盤づくり		
プロジェクト1. 歩きやすい、歩いて楽しい道づくり		64 ページ
プロジェクト2. 出かけたくなる都市環境の整備		65 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p><b>○ みどりの園庭づくり事業</b> ⇒ 継続実施(拡大)</p> <p>子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を実施 わかたけ保育園園庭の芝生化等 4,085千円(2,042千円)</p>	<p>橋本幼稚園園庭の芝生化 わかたけ保育園園庭の管理 1,120千円</p>
<p><b>○ ウォーキング推進事業</b> ⇒ 継続実施</p> <p>疾病予防に効果があるウォーキング習慣のきっかけづくりを行うイベントを実施 イベント開催 2回、マップ配布 41千円(20千円)</p>	<p>69千円</p>



### 3 観幸のまちの創生「訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト」

#### <総括>

#### (1) おもてなしの心の醸成

##### ①歴史・文化芸術に触れる機会の創出

日本三大随筆とされる徒然草第52段に因み、AI時代の日本語を考えることに貢献するとともに、「文化芸術都市・八幡市」の推進及び発信をを目的として第5回目の「徒然草エッセイ大賞」を実施。国内、世界各地からの応募があり、本事業を通じ応募者等へ本市が誇る歴史・文化の魅力を広く発信することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、八幡市民文化祭は令和2年度に引き続き中止となったが、子どもわくわく教室は感染拡大防止策を講じたうえで華道、茶道教室を実施し、小学3～6年生の児童が文化を体験するきっかけづくりの場となった。

##### ②お茶のある幸せの風景の創出

松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施し、八幡のてん茶や茶文化の魅力を伝えると同時に、お茶を通じた交流促進によるおもてなしの心の醸成に取り組んだ。なお、次代を担う小学生を対象に、お茶に親しむ機会や八幡の茶文化を学ぶ機会を提供する目的でお茶学習を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となった。

また、八幡の茶文化の発信のため、令和2年度に制作した空中茶室体験VRに視聴者を導く背割堤の「さくらVR」を制作するとともに、両VRをPRするための広報物を制作し、周知を行った。観光庁補助事業を活用して実施した「空中茶室バーチャル体験&ネイチャーツアー」では、空中茶室体験VRを活用したモニターツアーを実施した。京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業では、「東京の資源を活用した茶文化進化学業」として、やましろ地域の食材でのメニュー開発を行ったほか、オンラインツアーを通じ、山城地域の茶文化やお茶だけではなく山城地域の魅力発信を行った。

#### (2) 幸せと出逢う観光まちづくり

##### ①「観幸のまち やわた」のブランド構築

観光協会との連携による秋の文化財一斉公開や「お茶の京都DMO」との連携による観光地域づくりに継続的に取り組んだ。また、文化庁補助事業を活用し、八幡の歴史や文化を伝えるウェブコンテンツ「八幡ストーリー」に観光地案内機能を追加し、「八幡ストーリー&ガイド」としてリニューアルを行った。また、令和2年度に立ち上げた「やわたブランド創造事業」では、令和3年度にやわたブランド「ヤワタカラ」の第1回認定を行い、食品・工芸品合わせて17品を認定し、イベント等でPRを行った。

SNSの活用については、季節ごとにInstagramを活用したフォトキャンペーンを企画し、市民参加形式で地域資源の魅力を発信する取り組みを継続。また情報の拡散性が高いSNSの利点を生かして、LINE、Twitter、Youtubeの公式アカウントを運営し、市内外に向けた情報発信に取り組んだ。

##### ②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

名勝松花堂及び書院庭園をはじめとする市内文化財の保存・整備と更なる活用を進めたほか、アフターコロナに向け、外国人にも周遊促進を図るため、多言語対応の説明板を石清水八幡宮含む市内10カ所に25基設置した。また、宇治川・桂川改修促進期成同盟会等を通じ、三川合流域における新型コロナウイルス感染症に配慮した新しい様式の賑わいの創出や「さくらであい館」の利活用に関し、国に要望活動を行った。また、男山散策路に関し、散策路周辺の危険木の除去や柵等の安全施設の整備を行うなど、安全に男山を散策できるよう維持管理に取り組んだ。

コミュニティバスやわたは、観光客の移動手段の一つとして松花堂や流れ橋等の観光施設を結んでおり、令和3年度は、コロナ禍に伴って減少した利用客数が回復してきている。今後はインバウンドの回復も見越して利用促進策を講じていく必要がある。市内の公共交通機関も同様に利用促進策を講じていく必要があり、昨年度策定した八幡市地域公共交通計画に基づいて観光客が移動しやすい環境づくりの構築を図る必要がある。

また、令和3年度は、みどりのつどい(グリーンカーテン講習会)、スマート・エコ祭等、コロナ感染症の影響により実施できていない事業もあるが、令和4年度については、感染防止対策を講じて、実施する予定であり、今後も「自然と触れ合うきっかけづくり」のため、事業を実施し、本市が有する観光資源の一つである豊かな自然を守り育てる機運の醸成に努めていく。

##### ③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

周遊ルートづくり事業(他地域連携事業)として、宇治市・伏見区との企画協力による宇治川Eポート川下り&体験イベントや、宇治市との連携による大河ドラマを契機としたスタンプラリーを実施した。観光庁補助事業を活用し、空中茶室と松花堂をテーマに竹あかりのタペの開催、市内周遊バスの運行、デジタルスタンプラリーを開催し、周遊促進に取り組むとともに、京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業では、東京都渋谷区在住者・勤務者を対象としたオンラインツアーを実施し、京都やましろ地域の人々と交流を深めたほか、お茶をはじめとした京都やましろ地域の魅力の発信に努めた。松花堂庭園・美術館では茶席体験を実施し、八幡のてん茶や茶文化の魅力を伝えると同時に、お茶を通じた交流促進によるおもてなしの心の醸成に取り組んだ。

<基本目標の達成状況>

基本目標	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
年間観光入込客数	219万人	168万人	285万人	△
年間観光消費額	6.27億円	4.77億円	8.5億円	○
観光情報ハウスへの外国人来訪者数	1,020人	28人	1,800人	△

<各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業  
 □ : 上記以外の事業

(1)おもてなしの心の醸成

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
ボランティアガイド人数	77人	74人	106人	△
市民文化祭参加者数	3,000人	中止	3,000人	—
お茶学習参加者数	34人	中止	80人	—

(事業進捗状況)

①歴史・文化芸術に触れる機会の創出

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		82 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		84～86 ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト3.歴史景観の保全		91 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 徒然草エッセイ大賞	⇒ 継続実施
徒然草の52段に因み、優れたエッセイを全国に募り、本市の文化芸術に接し、交流する機会を創出 授賞式は仁和寺で実施 応募点数 2,733点 11,500千円(4,250千円)	授賞式は石清水八幡宮で実施 11,200千円(4,225千円)

## ②お茶のある幸せの風景の創出

### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト1.お茶に親しむ機会の創出		87 ページ
プロジェクト2.茶文化の発信		88 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<b>○ 八幡産てん茶普及啓発事業 ⇒ 継続実施</b>	
<p>松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施</p> <p>茶席体験参加人数 24人、お茶学習は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>533千円(266千円)</p>	<p>松花堂庭園・美術館での茶席体験及び市内小学校でのお茶学習を実施</p> <p>1,150千円(300千円)</p>
<b>○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業 ⇒ 継続実施</b>	
<p>お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出等を実施</p> <p>委員会、WG担当者会議、R4計画会議開催、やましろ食材でのメニュー開発、オンラインツアー実施</p> <p>負担金支出 1,186千円(593千円)</p>	<p>委員会、WG、実務担当者会議、子ども交流事業、お茶の京都大茶会実施等</p> <p>負担金支出 1,188千円(594千円)</p>

## (2) 幸せと出逢う観光まちづくり

### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
商品開発数(累計)	1件	1件(累計)	2件	○
プロモーション(商談会)参加件数	5件	3件	8件	○
観光意欲度(全国順位)	375位	450位	200位以上	△

### (事業進捗状況)

#### ①「観幸のまちやわた」のブランド構築

##### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」	
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり	
施策①「観幸のまち やわた」のブランド構築	
プロジェクト1.ブランドの構築	92 ページ
プロジェクト2.プロモーションの推進	93～94 ページ
プロジェクト3.観光まちづくりを進める体制づくり	95 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 観光協会活動助成 ↓ 18,834千円	⇒ 継続実施 ↓ 25,700千円
○ 秋の文化財一斉公開 本市の歴史・文化の魅力発信に向け、市内社寺等との連携により、特別拝観や文化財特別公開等を実施 591千円(295千円)	⇒ 継続実施 600千円(300千円)
○ お茶の京都DMO分担金支出 6,575千円(2,410千円)	⇒ 分担金支出 6,570千円(2,406千円)
○ やわたブランド創造事業 商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発・PR 「ヤワタカラ」第1回認定 794千円(280千円)	⇒ 継続実施 「ヤワタカラ」第2・3回認定、ノベルティ・特設HP作成、WGによる特産品磨き上げ 1,535千円(470千円)
○ 徒然草エッセイ大賞 徒然草の52段に因み、優れたエッセイを全国に募り、本市の文化芸術に接し、交流する機会を創出 授賞式は仁和寺で実施 応募点数 2,733点 11,500千円(4,250千円)	⇒ 継続実施 授賞式は石清水八幡宮で実施 11,200千円(4,225千円)

【再掲】

②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進		
プロジェクト1.石清水八幡宮を活かした交流拠点づくり		96 ページ
プロジェクト3.おもてなし環境の整備		99 ページ
しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第2節 活力の基盤整備		
施策②人・物の流れをつくる基盤の整備		
プロジェクト1.新名神高速道路(八幡京田辺～高槻間)の整備促進		116 ページ
プロジェクト2.市内幹線道路の整備		117～118 ページ
プロジェクト3.交流拠点の整備		119 ページ
プロジェクト4.ニーズに応じた公共交通の充実		120 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト2.茶文化の発信		88 ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト1.自然と触れ合うきっかけづくり		89 ページ
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進		
プロジェクト2.資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進		97～98 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p>○ 八幡産てん茶普及啓発事業</p> <p>松花堂庭園・美術館での茶席体験を実施 茶席体験参加人数 24人、お茶学習は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 533千円(266千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>松花堂庭園・美術館での茶席体験及び市内小学校でのお茶学習を実施 1,150千円(300千円)</p>
<p>○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業</p> <p>お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出等を実施 委員会、WG担当者会議、R4計画会議開催、やましろ食材でのメニュー開発、オンラインツアー実施 負担金支出 1,186千円(593千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>委員会、WG、実務担当者会議、子ども交流事業、お茶の京都大茶会実施等 負担金支出 1,188千円(594千円)</p>

【再掲】

【再掲】



## 4 みんなで創る多機能な力を有したまちの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」

### <総括>

#### (1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

##### ①環境と調和したしごとの創出

八幡市都市計画マスタープランや市街地整備計画に基づき、京都府や関係機関との連携の下、周辺の土地利用との調和を図った都市的土地利用を市街地調整区域において進めている。一方で、市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地指定後30年が経過する令和4年に向け、新たに制度化された特定生産緑地について生産緑地地区の所有者への周知及び指定意向の確認を行い、指定に向けた事務を進めている。また、市域就職面接会は新型コロナウイルス感染防止のために中止となったが、個別就職相談会を京都ジョブパーク及び地域若者サポートステーションと連携し実施するなど、地域の雇用の場創出に取り組んだ。

##### ②男山地域の再生

男山地域において、年間を通じ地域住民が気軽に集える交流拠点「だんだんテラス」にコーディネーターを配置し、運営を支援。令和3年度は八幡支援学校高等部福祉総合科3年生の生徒とのイベント企画や、不用品を活用した団地屋外空間での居場所づくりを行った。

また、男山地域住民の子育てサークルが運営する地域子育て支援施設「おひさまテラス」への運営支援等を引き続き実施。同地域に住む子育て世帯にとって身近な交流及び子育て支援の場所としての役割を果たしており、地域に根付いた施設となっていることから、今後も同施設の運営支援等を行っていく。

##### ③自然と調和したまちの魅力の創出

「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方を活かし、市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現や循環型社会形成のための取組を推進するため、令和3年度に策定した第3次八幡市環境基本計画に基づき、就学前環境教育推進事業については、パートナーシップ団体の八幡市環境市民ネットが市内公立、保育所・幼稚園等に出向き幼児を対象に自作の大型紙芝居や環境クイズを使った環境教育を実施しており、今後も未来の地球環境を担う、子どもたちに対しての環境教育の取組として着実に継続していく。

都市・農村のふれあいの推進に向けては、八幡農業ボランティアの会の主催による農産物収穫体験や、市民農園の利用を通じた自然にふれあう機会の創出等に取り組んだ。また、土地や樹木所有者等との間において、“みどり”の保全についての協定「みどりの約束」の締結を継続し、みどりの保護を行い、男山散策路等を通じて市民が自然と触れ合える機会の増加に寄与した。

##### ④やわたへの愛着と誇りの醸成

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、可能な範囲で生涯学習センター講座、公民館・コミュニティセンター講座等の開設や、市民図書館の運営、松花堂庭園・美術館、文化センターの運営及び各種自主事業等を行い、幅広い年代層が歴史や文化芸術に触れる機会を創出した。また、市民が地域の歴史・伝統・文化を大切にして暮らし、本市を誇りに感じる心「シビックプライド」を高められるよう、ふるさと学習館への来館促進を図り、文化財講座や小学生の社会科見学を通じ、地域の文化財の情報発信に努めた。

#### (2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

##### ①コミュニティ活動による地域づくりの推進

市内自治組織48団体と市政推進に関する協定を締結し、活動や拠点整備に対する助成などコミュニティ活動の支援を実施した。また、絆ネットワーク構築支援事業の実施や学校支援地域本部への活動助成など、様々なコミュニティ組織との連携を通じた地域づくりに努めた。

##### ②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

近年増加している外国人住民との多文化共生に向けた取組の一環として、日本語教育機会の確保という観点から、日本語指導ボランティア養成講座を実施したほか、やさしい日本語、ベトナム語、ポルトガル語で作成していた「くらしのそうだん事例集」に英語版を追加した。

関西大学外国語学部高橋ゼミによる地域住民と外国人住民の共生に向けた取組の一環として、男山団地に居住しているベトナム人技能実習生と学生、地域住民との交流会を実施。また、日本語を話すことができない外国人居住者等への対応を円滑に行うため、音声認識の外国語自動翻訳アプリを搭載した窓口対応用タブレットを活用するとともに、日本語指導を必要とする児童生徒に対しては、支援員等の派遣によるサポートを行った。

そのほか、誰もが互いに助け合いながら自分らしく活躍できる地域共生社会の実現に向け、絆ネットワーク構築支援事業や「わたしたちの談話」プロジェクトの実施による地域での共生の仕組み構築、女性専門・一般相談等の継続的な実施による男女共同参画社会の推進に向けた啓発、障がい者の活動の場や早期療育の機会創出、一般就労に向けた就労訓練及び一般就労後の支援、障害者団体の支援等に取り組んだ。



### (3) やわたEDISONチャレンジ！

#### ①八幡発の創業の推進

創業支援員の配置によるワンストップ窓口の設置・運営や融資保証料・利子の補給を継続的に実施した。創業支援事業計画(H28)を策定し創業者は増えているが、相談のみで起業に至らないケースもあり、具体的な支援について検討が必要となっている。

#### ②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

経営規模拡大に向けた活動支援や、農機具等の購入に対する助成を実施するとともに、スマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成することで、担い手の作業性・生産効率向上を図ることができた。

また、農家の経営安定化等を図るため、農業委員会と協力して農地の利用集積を推進した。

#### ③まちづくりの担い手の育成

市民協働活動センターはNPO等、非営利での市民活動団体の共有スペース及び情報発信拠点として運営しており、令和3年度もコロナ禍が続く中、利用制限を行いながら継続して団体が活動できるよう支援を実施した。

市民協働活動事業助成は京都府地域交響プロジェクト交付金の採択を受けた団体に対し、事業費の自己負担部分の一部を助成しており、令和3年度は5団体に対して助成を実施した。

### <基本目標の達成状況>

基本目標	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
転出入者数	▲215人	▲73人	0人以上	○
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	6団体	◎
まちの魅力度(全国順位)	381位	384位	200位以上	○
創業支援の相談者のうち創業に至った件数	1件	10件	4件	◎
認定農業者数	73人	65人	78人	△
八幡市ボランティア連絡協議会登録団体の所属人数	285人	307人	310人	○

## <各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業

□ : 上記以外の事業

### (1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
松花堂庭園茶室利用者数	823人	732人	3,000人	○
収穫体験参加者数	171人	230人	310人	○
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合	49.9%(H28)	R4取得予定	55.0%(R4)	—
リカレント教育推進講座の受講者数	545人	417人	650人	△
市域就職面接会で就業に至った人数	4人	中止	6人	—
居留意欲度(全国順位)	259位	224位	150位以上	○

#### (事業進捗状況)

##### ①環境と調和したしごとの創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第1節 活力の担い手育成		
施策①商工業の振興		
プロジェクト1.商工業の振興	104	ページ
プロジェクト3.就業支援	106	ページ
第2節 活力の基盤整備		
施策①企業立地の推進		
プロジェクト1.企業の進出可能な土地の確保	112～113	ページ
プロジェクト2.農地の保全	114	ページ
プロジェクト3.企業誘致の推進	115	ページ
持続可能な「安心・安全のまち やわた」		
第1節 環境と発展の調和		
施策①環境にやさしい暮らしの創出		
プロジェクト3.環境に配慮した事業活動の支援と指導	129	ページ
施策②資源の循環利用		
プロジェクト1.資源の循環利用に協力しやすい工夫	131	ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

②男山地域の再生

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

持続可能な「安心・安全のまち やわた」		148 ページ
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり		
施策①生活都市としての魅力の向上		
プロジェクト2.男山地域の再生		

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ だんだんテラス運営支援	⇒ 継続実施
地域コミュニティ拠点施設「だんだんテラス」の運営支援及び活動費助成 781千円(377千円)	1,600千円(720千円)
○ 地域コーディネーター配置	⇒ 継続実施
大学と連携し、だんだんテラスに地域コーディネーターを配置 3,000千円(1,500千円)	3,000千円(1,350千円)
○ 子育て支援事業助成	⇒ 継続実施
男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成 「おひさまテラス」 利用児童 519人 1,524千円(750千円)	1,546千円

【再掲】

### ③自然と調和したまちの魅力の創出

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト2.自然景観の保全	90	ページ
しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第1節 活力の担い手育成		
施策②農業の振興		
プロジェクト3.地産地消の推進	111	ページ
持続可能な「安心・安全のまち やわた」		
第1節 環境と発展の調和		
施策①環境にやさしい暮らしの創出		
プロジェクト1.環境にやさしい暮らしの実践の支援	126～127	ページ
プロジェクト4.美しい八幡づくり	130	ページ
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり		
施策①生活都市としての魅力の向上		
プロジェクト1.居住地としての八幡市の魅力発信	147	ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ さくら近隣公園リニューアルオープニングイベント	
リニューアルした公園のオープニングイベント開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 203千円(102千円)	

【再掲】

### ④やわたへの愛着と誇りの醸成

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策②新たな担い手による地域づくり		
プロジェクト2.生涯学習の機会の拡充	26	ページ
自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充	82	ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進	83	ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用	84～86	ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## (2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
日本語教室の在籍者数	35人	115人	50人	◎
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	6団体	◎
就労系福祉サービス利用者及び一般就労移行者の数(延べ人数)	1,947人	2,421人	2,500人(R4)	○

### (事業進捗状況)

#### ①コミュニティ活動による地域づくりの推進

##### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進		
プロジェクト1.地域コミュニティ活動の充実		21 ページ
プロジェクト2.地域コミュニティ活動の基盤整備		22 ページ
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり		23 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→ なし

#### ②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

##### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策①人権・平和の尊重		
プロジェクト4.外国人との共生社会の構築		8 ページ
施策②男女共同参画の推進		
プロジェクト1.男女の人権の保護		9 ページ
プロジェクト2.男女共同参画の推進		10 ページ
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進		
プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実		14～15 ページ
プロジェクト3.障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり		16～17 ページ
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実		18 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→ なし

### (3) やわたEDISONチャレンジ！

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R3実績	目標値(R6)	達成状況
創業相談件数	28件	49件	40件	◎
担い手農家の農地利用集積面積	121ha	130ha	130ha	◎
市民協働活動センター利用人数	2,029人	771人	2,200人	△

#### (事業進捗状況)

##### ①八幡発の創業の推進

###### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第1節 活力の担い手育成		105 ページ
施策①商工業の振興		
プロジェクト2.八幡発の創業の推進		

###### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

##### ②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

###### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

しなやかに発展する「活力のまち やわた」		
第1節 活力の担い手育成		108 ページ
施策②農業の振興		
プロジェクト1.担い手の育成・強化		
プロジェクト2.生産基盤の強化		109 ページ

###### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし



### ③まちづくりの担い手の育成

#### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第5次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策②新たな担い手による地域づくり		
プロジェクト1.地域づくりの担い手(NPO・ボランティア等)の育成		25 ページ
プロジェクト2.生涯学習の機会の拡充		26 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和3年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和4年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 創造的事業創出に向けた民間主導での議論の場の創出支援	⇒ 継続実施
やわたブランド創出事業において創出した産品も含めた、民間主導による社会実証の場創出支援 実績なし 0千円(0千円)	175千円(80千円)